

ゆっくりと、思う存分楽しんで

<今月の聖句>

「あるものは30倍、あるものは60倍、あるものは100倍にもなった」
(マルコによる福音書4章8～9節)

この間、宇治の先の山間部を車で走っていますと突然、フロントガラスに赤トンボの大群が迫ってきました。あれ、もうそんな時期かと、あたりを見回すと和らいた日差しを受けながら、あちらこちらでトンボたちが優雅にポルカダンスを踊っているではありませんか。その下に広がる田んぼは、もうすでに、半分近く稲刈りを終え残る稲穂もみな、茶色のこつべを垂れ、最盛期を迎えている。「もう秋か」とつぶやくと、旬の食べ物が次々と脳裏に浮かび運転しながら、なんだか急に、おなかがすいてきました。

ところが、そのまま山から下りて、びっくりしました。平地の水稻は、どれもいまなお、青い背筋がピンと伸びている。白鷺は羽ばたきながら、水田のあぜ道にすっと直立に降り立つ。「まだ夏だったか」と思いなおすと、再び汗が吹き出して今度は、シロップをかけた冷たいかき氷が心に浮かんできました。

同じ日、同じ京都なのに、あるところは秋、あるところは夏。不思議だなあ。でも、それぞれの場所、それぞれの環境でどの稲穂も精一杯、いのちを尽くして、生きている。だから、どれもみな美しい里山の風景でした。イエスさまは言われました。

「良い土地に落ちた種は、芽生え、育って、実を結びあるものは30倍、あるものは60倍、あるものは100倍にもなった」「30倍、60倍、100倍」どれもみな良い土地に落ちた種である、と。それぞれの環境でそれぞれが思う存分、いのちを燃やし尽くしてきた。だから、「30倍、60倍、100倍」、どれもみな美しい。

午睡時、静かな庭で、アゲハ蝶が二匹、ふわりふわりと仲良く連れ立って、花から花へと散歩していました。いまなお「夏真っ盛り」の、つくし保育園。どうかゆっくり、毎日を思う存分楽しんで、育てて欲しい。

(つくし保育園園長 つだかすお)

<礼拝のご案内>

毎週日曜日 あさ10時30分 だいが教会

つくし保育園お庭のチャペルの礼拝堂で

子どもやご家族と一緒に、楽しく明るい礼拝を